

急ぎ過ぎだよ 人類は。

ゆるやかなネットワークを目指す

ITより  
逢ひてエ

# 雑報 繩文

No. 707

2025年6月28日

も・く・じ

- |                |    |
|----------------|----|
| • 私自身が「あの子」だった | 1  |
| • 「入市被曝」       | 2  |
| • 米の需給状況 ③     | 4  |
| • 「エベレスト登れます」他 | 5  |
| • お便りから        | 8  |
| • 遊峰ハイキング      | 12 |
| • 石徹白散策        | 18 |
| • 法人化生機に生まれ変われ | 20 |
| • 5月の関農連絡会     | 24 |
| • ケ・イ・ジ・ば・ん    | 25 |
| • 正士さん見舞       | 26 |
|                | "  |

編集・発行 鈴木厚正  
〒266-0005 千葉市緑区菅田町2-21-359  
T&F 043-291-2917

いろんな考え方あれば面白い  
いろんな人がいるのが楽しい

の花百合  
にほん地感嘆  
山頭火



泉ゆきを『心はいつも山頭火』  
日本習字普及協会

メール配信をご希望の方は、  
<[suzukikosei.san@gmail.com](mailto:suzukikosei.san@gmail.com)>へ。  
三宅伊都子さんから  
応対してくださいます。

題字：佐村 隆英和尚（千葉県長柄町本光寺住職）  
カット：泉ゆきをさん（にっぽん箱絵の会会長）

印刷機 リソグラフ RZ 330

\*この号の切手はグリーティング夏。

## 正士さんを見舞う

6月24日からの山仕事。答史さんから「食欲が無く、不意に眠ったりする」と聞き、26日の作業を止めて、若林さんの車で久米さんが運転。聖隸三才寮病院バスピス棟へ。

4ヵ月間ベッドから離れず筋肉が落ちて身動きがまどろみの様子。それでも食時はしつかりして皆と言葉を交わしスタートボンビ写真を撮り合つたりし。別れ際、「さろさろ」との言葉が洩れた。あいの手を握り退出。胸が詰まり、言葉が出なかつた。

ほくの人生の後半、もっとも濃密に接したのが正士さんだった。山仕事を通じてよき仲間にも恵まれ、充実した時間だった。この30年間、ほくとうにありがと。正士さんに会えて、嬉しかったよ。

また、会えるといいね。

鈴木 喬正

